2026年JAF四国ダートトライアル選手権第４戦
2026年JMRC四国ダートトライアルシリーズ第４戦

’26CMSCアストロトライアル

主　　催：ｺﾙﾄﾓｰﾀｰｽﾎﾟｰﾂｸﾗﾌﾞ香川（CMSC香川）
場　　所：三好グラベルパーク
開　催　日：2026年6月28日
レポート：JMRC四国　広報担当
写真協力：A.TANAKA

PN+クラスは井上翔太郎選手が圧巻の走りで優勝!
SD1クラスはチャモロ選手が３勝目でシリーズを大きくリード

全６戦で争われる今年のJAF四国ダートトライアル選手権も第４戦を迎え、後半戦に突入。台風の影響が心配されたが、当日は天候も回復。直前までの雨の影響で三好グラベルパークでは初のウエットコンディションでの競技会となったが大きなトラブルもなく各クラスで熱戦が繰り広げられた。PN+クラスは中国地区の若手ドライバーで中国地区戦でチャンピオン争いを展開している井上翔太朗選手が第１ヒートを大きくリード。タイムアップ傾向となった第２ヒートも圧巻の走りで２位以下を引き離して優勝した。２位には九州地区から参加の山口博文選手、そして、地元の椞村浩之選手が３位となり、シリーズランキングトップに浮上した。　優勝した井上選手は「楽しいコースで、また、走りたい。」と語ってくれた。　SD1クラスは、チャモロ選手が第１ヒートこそ、コースを外れて低迷したものの、第２ヒートでは本来の実力を発揮して優勝。今シーズン３勝目となり、シリーズチャンピオン争いを圧倒的に有利な状況とした。２位は今シーズンはダートトライアルが本業かもしれないラリーストの松岡竜也選手、そして、３位には今シーズンから久々にダートラ復帰した川田昌人選手が入った。SD2クラスの第１ヒートをリードしたのは、梶田昌弘選手。梶田選手を近畿地区から参戦の辰巳浩一郎選手、中国地区から参戦の丸本光選手が僅差で追いかける展開。ただ、タイムアップ傾向となった第２ヒートはトップタイムの更新が続き、今回は、橋本充弘選手の車でのエントリーとなったラスト前ゼッケンの谷正史選手が トップタイムを更新してラストゼッケンの梶田選手を 待つ展開に。梶田選手も第１ヒートのタイムは大きく更新したものの谷選手のタイムには届かず。谷選手が優勝、梶田選手が２位、そして第１ヒートはミスコースだった豊田薫選手が３位。丸本選手は４位、辰巳選手が５位となった。今回の優勝でシリーズ２勝となった谷選手がチャンピオン争いをリードし、１勝の梶田選手が追う状況となった。また、選手権対象外となる競技ライセンス不要のクロースドクラスは、今回は残念ながら国宇翔生選手のみの参加となった。

PN+クラス優勝の井上翔太朗選手

PN+クラス２位の山口博文選手

PN+クラス３位の桒村浩之選手

SD1クラス優勝のチャモロ選手

SD1クラス２位の松岡竜也選手

SD1クラス３位の川田昌人選手

SD2クラス優勝の谷正史選手

SD2クラス２位の梶田昌弘選手

SD2クラス３位の豊田薫選手

パドックの状況

PN＋クラス表彰

SD1クラス表彰

SD2クラス表彰

クローズドクラス（選手権対象外）表彰